



東京芸術大学
音楽学部音楽環境創造科
武蔵野美術大学
クリエイティブ
イノベーション学科
伊藤 明日奈

武蔵野学芸専門学校の高等課程では、美術の広い分野を学び、様々な経験をさせてもらいました。はじめはデザインの分野を目指して頑張っていたのですが、自分は本当は、表現をした先にそれをどう人々に届けるかまで意識したいことに気がついて、東京芸術大学音楽環境創造科と武蔵野美術大学クリエイティブイノベーション学科を併願することに決めました。学校では、勉強できない音楽の筆記試験対策は、楽典の本を網羅し、難しいところは音楽の先生に質問しました。そして三上先生には面接のご指導をしていただきました。武蔵野学芸専

門学校内外での創作活動の経験、芸術について日常的に考えていること、入学後の具体的な構想を伝えられたことが東京芸術大学の合格につながったと思っています。



学校の先生方には様々なことを教えてもらえたことをとても感謝しています。

東京工芸大学
芸術学部映像学科
阿久津 晟矢



11月17日、志望大学の面接試験の日だった。大学の最寄駅を降り、試験会場の待機室に着席したのは、試験開始の1時間前だった。私の番になり、面接の試験が開始した。この日受けた、武蔵野美術大学映像学科クリエイション資質重視型入試の結果は、残念ながら「不合格」であった。12月15日、防寒対策をキメて家を出た。目指すは、東京工芸大学中野キャンパス。会場に着いて、すぐに試験が始まり、その時受けた試験は無事合格した。東京工芸



大学への入学が決定した。



多摩美術大学
絵画学科油画専攻
濱渦 七海

油彩では、とにかく難しい事は考えるのをやめて、楽しく描く、自分はこういう人ですと言い切ることを意識して描きました。試験中は自分の感覚を信じて描いたので、気付けばあっという間でした。重く受け止めず、肩の力を抜いて挑めた事が自分を表現することに繋がったのではないかと思います。



東京工芸大学
芸術学部デザイン学科
橋爪 祐佳

私は一般入試で実技試験のみで合否が決まる表現力入試を受けました。画力はもちろんのこと、私が受ける試験は3時間のデッサンだったので、1番に完成させること、そして2番に時間に間に合わせることを目的としてデッサンを描いてきました。試験では透明なモチーフとしてお菓子の袋が出されました。練習していた甲斐もあり、透明物に対し試験直前に



は得意ではないにしろ苦手意識というものも無くなっていました。入試を前に1つの目的を立てていった方がいいと感じました。



東北芸術工科大学
芸術学部工芸コース
森 花梨

私は前期の一般試験を受けました。山形県にあり、受けるまでに一人暮らしの悩みなどもありましたが、先生方の熱心なご指導の下、対策を行い合格することができました。学科試験は一科目なので、得意科目を集中して勉強することが大切だと思います。私も得意科目の国語を選択しました。事前に実技や学科の過去問などを解いて対策することが重要だと感じます。



東京工芸大学
芸術学部デザイン学科
齋藤 涼

私は学びたい学科があったので東京工芸大学を選択しました。まず、取り組んだ事はオープンキャンパス全てに参加することでした。エントリーシートは綿密に先生と相談してアドバイスをもらい、また大学側に目を留めてもらうようにするため、いかに工夫をするかを考えました。大学に入りた



いという強い気持ちを伝えるために自分をアピールし、認識してもらうことがとても重要だと思います。



東京工芸大学
芸術学部デザイン学科
住吉 音寧

私は最初、AO入試を受けるために対策と準備をしていましたが、残念ながら受かることができませんでした。

同じ東京工芸大学の表現力入試（鉛筆デッサン）に諦めずにチャレンジし、無事合格することができました。表現力入試の鉛筆デッサン



はいままで学んできたことを出し切って挑めました。